

DVD±R/RW/RAM

セットアップガイド

DVRP-UN8LX2

この度は「DVRP-UN8LX2」(以下、本製品と呼びます。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に「本書」をよくお読みいただき、正しい取り扱いをお願いいたします。

I・O DATA

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信機に影響を及ぼすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

M-MANU200498-01

動作環境の確認

対応機種 ^{※1}	USB 2.0 ^{※2} ポートを搭載したDOS/Vパソコン
対応OS	Windows Vista [®] (32bitのみ対応) / Windows XP Service Pack 2 / Windows 2000 Professional Service Pack 4以降 ^{※3}
搭載CPU	●データ保存時: PentiumIII 500MHz以上 ●ビデオ編集・DVD鑑賞時: Pentium4 1.6GHz以上
メモリ	512Mバイト以上
ハードディスク	空き容量 10Gバイト以上 (20Gバイト以上推奨)
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット ^{※4}	以下の場合にインターネット接続環境が必要です。 ●DVD MovieWriterおよびWinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きの際 ●CPRM技術で録画されたDVD-RメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合
対応メディア ^{※5}	●DVD: DVD-R ^{※6} 、※7、DVD+RW、DVD-R ^{※7} 、※8、DVD-RW、DVD-RAM ^{※9} 、DVD-ROM ●C: D: CD-R、CD-RW、CD-ROM

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層DVD+R	16倍速 (最大8倍速書き込み) 8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学、リコー
2層DVD+R	8倍速 (最大4倍速書き込み) 2.4倍速 (最大4倍速書き込み ^{※13})	日立マクセル、三菱化学
DVD+RW	8倍速 4倍速	日立マクセル、リコー 三菱化学、リコー
1層DVD-R ^{※11}	16倍速 LabelFlash [™] 対応 (最大8倍速書き込み) 8倍速 (最大8倍速書き込み)	富士フイルム、弊社製DVD-R4、7LF ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
2層DVD-R	8倍速 (最大4倍速書き込み) 4倍速	三菱化学 日立マクセル、日本ビクター、三菱化学
DVD-RW ^{※11}	6倍速 4倍速	日立マクセル、日本ビクター、三菱化学
DVD-RAM ^{※12}	5倍速 3倍速	パナソニック、日立マクセル 日立マクセル
CD-R	太陽誘電、三菱化学	
CD-RW	三菱化学	

- ※1 お買い上げ対応機種を対応製品検索エンジン「PIO」にてご確認ください。
<http://www.iodata.jp/pio/>
なお、パソコン本体のUSBポートの電源供給性能により、バスパワーで動作しない場合があります。その場合は添付のACアダプターを接続してご使用ください。
- ※2 ●パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0環境で、ご利用のOSに対応したドライバ/インストallerがインストールされている必要があります。(Microsoft社USB 2.0ドライバ推奨)
●増設USB 2.0インターフェイスには対応しておりません。
- ※3 添付のDVDオーサリングソフト/DVD プレーヤーはWindows 2000に対応しております。
- ※4 Windows Vista[®]およびWindows XP環境でCPRM技術で録画されたDVD-Rメディアを再生する場合は、以下を満たした必要があります。
●グラフィックアクセラレーターボード
●PCI-Express接続
●最新のドライバがインストールされていること
●HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載
●ディスプレイ
●HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクタを搭載
- ※5 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●DVD、CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に对应したメディアが必要です。
- ※6 2層DVD-Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができません。
- ※7 2層DVD-Rメディアに「B's CLIP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。
- ※8 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンのみ対応しております。
- ※9 カートリッジから取り出し不可能なメディア(Type II、および2.5Gバイト)のメディアには対応しておりません。
- ※10 推奨メディア以外を使用する場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●書き込み時は、必ず「メーカーメニュー」にてご確認ください。
●メディアメーカーの生産の都合上、入手困難な場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※11 「B's Recorder GOLD9 BASIC」にてコピー禁止機能付きDVDを作成する場合には、推奨メディアにてご使用ください。
※12 DVD-RAMの書き込みは、DVD-RAMのみの書き込みに対応しております。
- ※13 弊社では記載の推奨メディアにてメディアの書き込みを推奨する場合があります。また、メディアメーカーへの本製品のメディアの書き込みを推奨する場合があります。必ずメディアの書き込みの仕方をよく読んでください。

- ※注意 ●DVD+R/RW/R-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
●上記の条件を満たした場合には、通常のメディアの品質によっては、ドライブの読み込み性能を発揮できない場合があります。Windows Vista[®]でご利用の際はより高性能な機種を推奨いたします。

製品仕様

ドライブ名	ソニー・NEC オプティアーク株式会社製ドライブ
インターフェイス仕様	USB 2.0
設置条件	設置方向: 水平、垂直
ディスクローディング方式	パワーエジェクト/手動挿入方式
データパフォーマン	2M/バイト
書き込みエラー回避機能	搭載
DVD	1層 2層 +RW -RW RAM ROM
書き込み	×8 ×4 ×8 ×8 ×4 ×6 ×5 -
読み込み	×8 ×6 ×8 ×8 ×6 ×8 ×5 (※8倍速)
書き込み	×24 ×24 -
読み込み	×24 ×24 ×24
LabelFlash [™] のレーベル面描画速度	解像度 303dpi 約11分 標準 605dpi 約21分 画質優先

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

【危険、警告、注意】

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死または重傷を負う可能性があります。必ずこの表示を無視して誤った取り扱いをしないでください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【絵記号の意味】

この記号は注意 (警告を含む) を促す内容を示すものです。記号の中心に三角形の内部が黒く塗りつぶされています。

この記号は禁止の行為を告げる内容を示すものです。記号の中心に斜線が描かれています。

この記号は必ず守っていただきたい内容を示すものです。記号の中心に斜線が描かれています。

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

【危険】

【火災】

【火災】

【火災】

1. 準備しよう

内容物を確認します

ドライブ(1台)

ACアダプター (1個)

縦置き用スタンド (1個)

USB(A-miniB)ケーブル (1本)

シリアル番号(S/N)をメモします

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印刷してある12桁の英数字です。(例: AOA00000000XX)
▼シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。
■ユーザー登録 ▶ <http://www.iodata.jp/regist/>
■ファームウェア等のダウンロード ▶ <http://www.iodata.jp/lib/>

ハードウェア保証書について
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されています。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

LabelFlash[™]専用メディアについて
レーベルフラッシュ書き込みを行う場合にはLabelFlash[™]専用メディアが必要です。
ご購入の際は是非、弊社インターネット通販サイト「ioPLAZA」をご利用ください。
[ioPLAZA] ▶ <http://www.ioplaza.jp/>
▶ 商品カテゴリ「ストレージ」>「光学ドライブ」>「DVD-R」>「DVD-R (4.7GB 1~16倍速記録対応)」
製品名 富士フイルム社製LabelFlash[™]対応データ用DVD-R (4.7GB 1~16倍速記録対応)
型番 DVD-R4、7LF

USBケーブルのコネクター形状を十分に確認してください。誤って別のUSBケーブルを接続したことになるカメラ、本製品等機器の破損には対応いたしかねます。あらかじめご了承ください。

各部の名称
ドライブ前面・側面
イジェクトボタン
アクセラランプ
緊急イジェクトホール
トレイ
ドライブ背面
DC IN
セキュリティフック
縦置き用スタンド差込口
縦置き手順
USBコネクタ(Type mini B)
縦置き用スタンド

電源を入れる。(用途およびパソコン環境にあわせてPowerスイッチを「AC」または「BUS」にします。)
バスパワーモードで使用する場合は、必ず「バスパワー診断プログラム」でご使用のパソコンでのバスパワー動作の可否を診断してください。(右記「3. 診断しよう」参照)「バスパワー診断プログラム」を実行する場合は、バスパワーモードに設定してください。

電源を切ります。
電源を切った状態になります。
【バスパワーモード】
USBポートからの給電のみで動作します。

「マイコンピュータ」(または「コンピュータ」)を開き、本製品のアイコンが追加されていることを確認します。

アイコンが追加されていない場合
●バスパワーの場合、供給電力が不足している可能性があります。ACモードで接続し直して、ご使用ください。
●[表示]メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
●添付のDVD-ROMに収録されているQ&Aの「本製品をパソコンに接続しても認識しない(本製品のアイコンがマイコンピュータ(またはコンピュータ)に表示されない)」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合
[キャンセル]ボタンをクリックし、本製品のケーブルをパソコンから取り外します。
パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

2. 接続しよう

本製品をパソコンに接続します

手順.1

本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

添付のUSBケーブル以外は使用しないでください。本製品やパソコンの故障の原因となります。

手順.2 (ACモードの場合のみ)
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

電源を入れます。(用途およびパソコン環境にあわせてPowerスイッチを「AC」または「BUS」にします。)
バスパワーモードで使用する場合は、必ず「バスパワー診断プログラム」でご使用のパソコンでのバスパワー動作の可否を診断してください。(右記「3. 診断しよう」参照)「バスパワー診断プログラム」を実行する場合は、バスパワーモードに設定してください。

Powerスイッチの説明
AC 【ACモード】
ACアダプターからの給電で動作します。
OFF 電源が切れた状態になります。
BUS 【バスパワーモード】
USBポートからの給電のみで動作します。

手順.4
パソコンのUSBポートにつなぎます。
本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。

手順.5
「マイコンピュータ」(または「コンピュータ」)を開き、本製品のアイコンが追加されていることを確認します。

手順.6
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.7
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.8
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.9
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.10
「バスパワーモード」で動作を確認します。

3. 診断しよう

バスパワー動作の可否を診断します

手順.1

ACモードで接続した本製品に、添付DVD-ROMを挿入します。

手順.2
メニューが表示されたら「バスパワー診断プログラム」をクリックします。

手順.3
[OK]ボタンをクリックします。
⇒デスクトップ上に「バスパワー診断プログラム」フォルダがコピーされます。

手順.4
添付DVD-ROMを取り出し、パソコンから本製品を一旦取り外します。
その後、本製品をバスパワーモードで接続しなおします。

手順.5
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.6
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.7
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.8
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.9
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.10
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.11
「バスパワーモード」で動作を確認します。

手順.12
「バスパワーモード」で動作を確認します。

